

団体名	名古屋経済大学犬山学研究センター						
事業名	中部地方の歴史まちづくりを学ぶ体験型プログラム						
実施期間	2023年11月1日～2024年1月31日						
場 所	名古屋経済大学、名古屋大学、 中山道(妻籠・馬籠)、伊勢街道(斎宮歴史博物館、伊勢神宮本宮)						
参加者数	外国人留学生	日本人学生	地域住民 (留学生以外の外国人)	地域住民 (外国人除く。地域のスタッフ含む)	申請団体スタッフ	その他	合計
	82	14	1	4	20	0	121名

<実施内容>

中部地方には町家や武家屋敷などの歴史的建造物が残る美しい城下町が多く、祭礼行事・伝統工芸などの歴史と伝統を反映した人々の生活が営まれている。しかし、留学生たちがそうした歴史的な街並み・伝統産業・文化について学ぶ機会は、必ずしも多くはない。そこで、本事業では自治体・観光協会・NPOの協力を得て、留学生たちが中部地方の歴史まちづくりについて地域住民と交流しながら体験的に学ぶ学習プログラムを実施することをめざした。本事業では、(1)中山道や伊勢の歴史的町並みの見学、(2)歴史まちづくりに取り組むNPO・地域住民との対話、(3)伝統工芸の見学、(4)茶道などの日本文化体験、(5)地域の博物館・美術館の見学などを通して、中部地方の歴史まちづくりについて体験的に学ぶために、①中山道(妻籠・馬籠)の見学(12月9日)、②伊勢街道(明和町、伊勢神宮)の見学(1月27日)、③南木曾町博物館・脇本陣奥谷の見学(12月9日)、④斎宮歴史博物館・伊勢神宮本宮の見学(1月27日)、⑤尾張裏千家の茶道体験(12月20日、1月12日)を実施した。中山道(妻籠・馬籠)の見学では、中山道の歴史的町並保存の歴史や現状と課題について学び討論した。また、伊勢街道の見学(斎宮歴史博物館)では、斎宮歴史博物館の学芸員から斎宮の歴史や斎宮跡遺跡の国史跡指定の経緯と今後の課題などについてご講義頂き、討論を行った。

<記録写真>



脇本陣での講義(妻籠)



妻籠の歴史的町並みでの散策



斎宮歴史博物館での講義

<参加者からのコメント>

バストラ・ビカスさん(ネパール)/Bastra Bikas (Nepal)

中部地方の歴史的な街並みや保存運動について学ぶことができ、とても貴重な機会となった。ぜひ、またこのような企画に参加したい。

コウ・シンジンさん(中国)/Ko Shinjin(China)

茶道を初めて体験し、とても楽しかった。もっと茶道を学んでみたいと思う。

英語名称 (英語版作成用)

団体名	Center for Inuyama Studies, Nagoya University of Economics
事業名	An experiential program to learn about the historical landscape of the Central Japan